

1 . 調 査 報 告 概 要 表

〔認知症対応型共同生活介護用〕

作成日 平成 1 9 年 1 2 月 1 3 日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 3 3 0 2 1 5 9
法人名	有限会社 小池介護サービス
事業所名	グループホーム天下茶屋
所在地	大阪市西成区天下茶屋 2 丁目 1 8 番 3 2 号 (電 話) 0 6 - 6 6 5 3 - 1 3 3 3

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 1 9 年 1 1 月 2 6 日

【情報提供票より】(平成 1 9 年 1 1 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	21人	常勤 5人, 非常勤 16人, 常勤換算	12.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	4 2 , 0 0 0 円		その他の経費 (月額)	円
敷 金	有 (円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (2 9 4 , 0 0 0 円) 無		有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1 , 1 0 0 円			

(4) 利用者の概要 (平成 1 9 年 1 1 月 1 日現在)

利用者人数	1 7 名	男性	7 名	女性	1 0 名
要介護 1	8 名	要介護 2	2 名		
要介護 3	3 名	要介護 4	3 名		
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 7 9 歳	最低	6 3 歳	最高	9 8 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医) 小池外科、医) 小林デンタルクリニック
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療系の営利法人が運営するグループホームです。「家庭的な安らぎのある生活をしていただきます」「質の高いサービスを提供します」(要旨)を理念として掲げ、利用者が家族、職員、地域住民と共に安心してその人らしい生活を続けられるよう支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気です。協力病院の医師と職員として配置されている看護師のサポートにより、利用者や家族に安心感を与えています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部 4)
	前回の外部評価項目で示された事項について改善が進み、センター方式によるアセスメントを行い、利用者の生活歴の把握と活用が図られています。職員研修が充実し、さらに日中ドアの鍵についても開錠し、見守りだけで対応できるようになりました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部 4)
	自己評価は、管理者と職員で話し合い、意見交換をしながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部 4, 5, 6)
	運営推進会議は地域包括支援センター職員、地域の代表者、家族の参加のもとで、2 ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況、行事報告、利用者の生活ぶり、職員の外部研修への参加状況等の説明を行い、地域との交流を深める方法について話し合っています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部 7, 8)
	家族との面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については必要の都度、電話で家族に報告しています。2 ヶ月毎に「スマイルだより」を発行し、行事や生活状況について写真とともに報告しています。家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族の意見を表せる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部 3)
	ホームは地域の自治会に加入し、2 ヶ月毎の自治会の定例会議にも出席し、地域との交流を図っています。自治会行事の清掃や廃品回収、小学校の下校時のパトロール、年末の夜警、消防訓練にも参加しています。またホームの夏祭りやクリスマス会への参加を呼びかけています。

2. 調 査 報 告 書

(☐ 部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的で安らぎのある生活をしていただき ます」「質の高いサービスを提供します」(要 旨)を理念として掲げ、利用者が家族、職員、 地域住民と共に安心してその人らしい生活 を続けられるよう支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化し、ホーム内に掲示されていま す。毎月のスタッフ会議や毎日の業務を通じ て、管理者と職員は理念を共有し介護サー ビスに反映させるよう話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	ホームは地域の自治会に加入し、2ヶ月毎の 自治会の定例会議にも出席し、地域との交流 を図っています。自治会行事の清掃や廃品回 収、小学校の下校時のパトロール、年末の夜 警、消防訓練にも参加しています。またホー ムの夏祭りやクリスマス会への参加を呼びか けています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について改善が進み、利用者のセンター方式によるアセスメントを行い、生活歴の把握と活用が図られています。職員研修が充実し、さらに日中ドアの鍵をかけず見守りだけで対応できるようになりました。自己評価は、管理者と職員が話し合い、意見交換しながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センター職員、地域の代表、家族の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況、行事報告、利用者の生活ぶり、職員の外部研修への参加状況等の説明を行い、地域との交流を深める方法について話し合っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は西成区の担当職員に相談したり、区が開催するグループホーム連絡会や講習会に参加し意見交換をしたりしながら、サービスの質の向上に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。2ヶ月毎に「スマイルだより」を発行し、行事や生活状況について写真とともに報告しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族の意見が表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新人職員の採用にあたって、短期間で退職した職員の補充が幾度かあり混乱はありましたが、ベテラン職員の頑張りで利用者への影響は最小限に抑えることができています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	昨年外部評価を受審後、外部研修の認知症実践者研修・防災に関する研修・感染症や食中毒予防講習会への参加や、内部で糖尿病や誤嚥に関する勉強会を実施する等、職員を育てる取り組みが積極的に進められています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人グループホームの職員の交流だけでなく、利用者も合同で夏祭りやバーベキューなどの行事を行っています。管理者は認知症研修会での交流がきっかけとなり、地域のグループホームの管理者の集いを計画しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には職員が施設や家庭を訪問し、利用者や家族にはホームを見学してもらうことにより、馴染みの関係作りを行っています。家族や本人の不安を取り除き、安心して入居しサービスを受けられるように取り組んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。ホーム内でリーダー的な存在を発揮してもらったり、水彩画や塗り絵の得意な利用者が描いた絵を居間に飾ったりするなど、それぞれが得意な能力を発揮しながら生き生きと活躍できるよう支援しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	居室で読書をしたり、新聞を読んだり、フルートを吹いたり、テレビで録画したビデオを収集し整理したり、あるいはパチンコや、宝くじを買いに外出したりする利用者等、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望に沿い、利用者が生き活きとした生活を楽しめるように支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式によるアセスメント情報や利用者の現在の暮らし、心身の状況を把握するとともに、医師や看護師の意見や、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、家族の同意も得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には6ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。ケアマネジャーは3ヶ月毎にモニタリングを行い、カンファレンスを実施してケアプランの見直しにつなげています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力病院との連携や看護師の配置により医療連携体制を取り、利用者の状態に必要な看護を行っています。必要により通院介助も行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は通常は協力病院の医師の医療を受けていますが、診療科目によっては利用者や家族の希望により、以前からのかかりつけ医（医療機関）で引き続き医療を受けている利用者もいます。協力病院と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームは家族に看取りを行う方針を伝え、意向の確認をしています。重度化した場合の対応についてはホームと家族・利用者、医師が話し合い、全員が方針を共有しながら対応していく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。居室で読書をしたり、新聞を読んだり、録画ビデオの整理をしたり、ちぎり絵をしたりする利用者等、利用者一人ひとりのペースが保てるよう支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	全ての食事を職員が調理しています。買い物や食事準備、盛り付け、後片付け等に利用者も得意な分野で参加し楽しんでいます。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は通常週に2回はゆっくり寛いだ入浴ができています。希望すれば毎日でも入浴することができます。	○	利用者が週に3回はゆっくりと寛いで入浴できるよう体制と雰囲気作りが求められます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中でそれぞれの役割を見つけ、家事を分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。多くの利用者はそれぞれの趣味活動を楽しんでいます。水彩画を描いたり、ちぎり絵をしたり、カラオケをしたり、録画ビデオやジャズテープを収集したり、読書をしたりして、利用者一人ひとりが得意なことや役割、気晴らしをして楽しんでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に買物や周辺の散歩に出かけるとともに、利用者一人ひとりの希望に応じて難波や、通天閣に出かけたり、宝くじを買いに行ったり、パチンコ屋に行ったりする等、外出の支援をしています。季節の花見や初詣、長居公園への遠足や、芝居小屋に出かける計画もあります。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解し ており、鍵をかけないケアに取り組ん でいる	前回の外部評価で示されたフロアドアにつ いて、日中の時間帯は鍵が開錠され、見守り だけで対応ができるようになっていました。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を身 につけ、日ごろより地域の人々の協力 を得られるよう働きかけている	災害対策として避難訓練が実施されていま せん。食料と水の備蓄についても実施されてい ません。	○	災害対策のマニュアルを定め、年 2 回の 避難訓練をすることが求められます。非 常・災害時のための食料品と水の備蓄に ついて「非常用備蓄マニュアル」等の取 り決めを作成し、備蓄をすることが求め られます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている	一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録 をとっています。栄養バランスについては、 同一法人である老人保健施設の管理栄養士よ りアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関外まわりにある花壇やプランターには季節の花が植えられ、内には観葉植物や絵画、手作り作品が飾られ訪ねやすい雰囲気になっています。手作り作品の水彩画、塗り絵、押し花や行事写真、観葉植物、水栽培のトマト、葉牡丹などがあるリビング兼ダイニングルームは季節感とともに温かみを感じさせる共用空間になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者はドレッサー、整理ダンス、ローボード、収納ケース、椅子、仏壇、装飾品、家族の写真等使い慣れた馴染みの古い物や生活用品を持ち込んでいます。居室では全集物の本を読んだり、収集した録画ビデオの整理をしたり、水彩画を描いたりする等、利用者一人ひとりが安心して過ごせる居場所になっています。		